

長崎外国語大学 新長崎学研究センター
Research Center for the New Nagasaki Studies (ReCNaS:レクナス)
Nagasaki University of Foreign Studies (NUFS)

新長崎学シンポジウム（初年度レビュー）

- 1、趣 旨： 新長崎学研究センターに関わる研究者が一同に集まり、この1年間の研究活動を振り返り、来年度に向けた重点的な研究課題を模索する。
- 2、期 日： 3月24日（金）10：00～15：30（12:00～13:00 昼休み）
- 3、場 所： 長崎外国語大学 1F Community Lounge
- 4、参加者： 長崎外国語大学教職員、学外研究者（センター協力研究員候補ほか）
- 5、スケジュール

10：00 開会の挨拶 溝田 勉（新長崎学研究センター長代理）
栗屋 曠（長崎学院理事長）
石川昭仁（長崎外国語大学学長）

10：15～12：00 午前の部 2016年度の活動を振り返って

- ① 1年間の活動を振り返って 溝田 勉
 - 1、『長崎学院創立70周年記念誌』の刊行
 - 2、『G・F・フルベッキ博士の長崎時代』の刊行等
 - 3、新長崎学研究センターの開設

- ② 長崎外国語大学研究ブランディング確立の試み 姫野 順一
 - 1、研究の重点課題について
 - 2、研究体制について（研究員の確認）

③ 学外からの期待

学外研究者、学外研究支援者：

小谷哲也氏、末光進氏、陳東華氏、長崎学ネットワーク会議、
長崎歴史文化博物館、福島卓氏、藤泉氏、船橋修一氏、
ブライアン・パークガフニ氏、本田貞勝氏、宮川雅一氏、
宮崎賢太郎氏、横田貞三氏、吉田茂視氏、吉田親生氏、若木太一氏

（50音順）

④ 総務報告

12：00～13：00 昼休み

13:00～15:00 2017年度の展望：学内重点プロジェクトのシーズ模索

講 話： 長崎外国語大学の建学の精神について 理事長 栗屋 曠

討 論：「新長崎学研究」のブランディング化に向けて

①語学教育・地域文化研究

- 1) 日・韓・中・満・英・独・仏語 トリ・リンガル語学教育関連
(特に英語、日本語)
- 2) 英学史、仏学史、独学史、中国学史、韓国学史、国語学史、辞書学、地域事情等

②国際平和・国際理解・国際観光政策研究

- 1) 国際平和・人材育成プロジェクトについて
- 2) 国際理解・協力プロジェクトについて
- 3) 国際観光政策研究について

③長崎学研究

- 1) 資料収集：キリスト教宣教史関係、長崎・居留地古写真、語学教育資料等
長崎学に関わる映像資料
- 2) 長崎学：建学の精神、フルベッキ研究、キリスト教宣教史等、地域史、古代史
- 3) デジタル・ヒューマニティーズ：データベース開発、デザイン・アプリケーションソフト開発、スタジオ活用

15:00～15:25 新長崎学研究センター研究員会議

来年度の事業計画について

- ① シニア公開講座との合同事業の実施
- ② NICE キャンパス長崎（大学間連携授業）の開講
- ③ 招待講演・研究会の実施
- ④ 研究調査の実施
- ⑤ 資料収集事業
- ⑥ 私学研究ブランディング事業への応募
- ⑦ 科研応募の支援
- ⑧ 『新長崎学研究センター紀要』の刊行
- ⑨ HP の立ち上げ
- ⑩ 規約整備
- ⑪ 予算およびスケジュール

15:25～15:30 閉会の挨拶 姫野 順一（新長崎学研究センター長代理代行）

当日の様子

